

岐阜県立岐阜商業高等学校

校 長 村上 宏俊

学校住所 岐阜市則武新屋敷1816-6 電話 058-231-6161

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- | | | | | |
|---|-------|--------------------------|------------|------------------|
| 1 | 会 議 名 | 岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第2回） | | |
| 2 | 開催日時 | 令和7年10月20日（月）10:00～11:45 | | |
| 3 | 開催場所 | 岐阜商業高等学校 校長室 | | |
| 4 | 参 加 者 | 会 長 | 川島 政樹 | カワボウ株式会社 代表取締役社長 |
| | | 副 会 長 | 大友 克之 | 朝日大学 学長（欠席） |
| | | 委 員 | 和田 直也 | 岐阜市議会議員 |
| | | | 大野 裕美 | 早田公民館 元館長 |
| | | | 関口 茜 | 全日制PTA特別活動委員長 |
| | | | 藤井 彰子 | 定時制育友会副会長（欠席） |
| | 学 校 側 | 村 上 宏俊 | 校長 | |
| | | 奈波 宏和 | 副校長 | |
| | | 清水 尚 | 事務部長 | |
| | | 下平 昌子 | 教頭 | |
| | | 水谷 貴郎 | 教頭 | |
| | | 後藤 敦史 | 教務部長 | |
| | | 石川 勝久 | 商業教育推進部長 | |
| | | 糸井 統 | 生徒指導部長（欠席） | |
| | | 大池 須美子 | 進路指導部長 | |
| | | 黒田 匠馬 | 特別活動部長 | |

5 会議の概要（協議事項）

ー公開授業参観ー

- （1）学校長挨拶
- （2）外部評価について（全日制・定時制）
- （3）進路指導について
- （4）公開授業について
- （5）その他

【全日制】

意見1：教員の働き方改革は必須の課題であり、ICTやDX活用と合わせた授業改善によって具体的な成果を出す必要がある。

意見2：来年度から新生入生に導入されるタブレットの保護者負担（7～8万円程度）について、セキュリティ面の懸念や機種間の機能差など、いくつかの課題があるのではないかと。

⇒県經由で購入する指定スペックの端末（Windows Surface Go）以外に、個人所有の端末（iPad等）の持ち込みも認める方針である。ただし、iPad等は学校側での設定ができないため、生徒個人で設定を行う必要がある。

意見 3：来年度からタブレットが自己負担になり、経済的負担が大きくなる。各家庭が節約に努めている状況で、7万～8万円のタブレット購入は経済的に困難である。高額なタブレットの購入は難しいと予測される。

意見 4：生徒の経済的負担を軽減するため、奨学会が保有する基金を活用することが必要ではないか。時代の変化に合わせてタブレット購入支援といった新たな目的に利用を変更することが有効ではないか。

意見 5：授業内容と生徒の様子について、商業の専門用語は外部の人間には難しいと感じられたが、生徒たちは集中して授業を受けていた。40人のクラスを20人ずつの2グループに分けて授業を行う形式は、教員の目が届きやすく、生徒も質問しやすい環境であると感じた。先生方が、時折ユーモアを交えて生徒の緊張をほぐす指導方法は、生徒の集中力を引き出す上で効果的である。

意見 6：「簿記」や「マーケティング」など、商業高校ならではの専門的な学びの価値を再確認した。今後も大切にしてほしい。時代の変化に合わせた改革は重要だが、多くの生徒がTシャツに記している「不撓不屈」の精神を3年間で身につけさせることが最も大切である。

意見 7：39年前はそろばんから計算機へ切り替わる過渡期であった。現在はタブレットが導入されるなど、教育で用いるツールが大きく変化している。「論理国語」という授業が面白いと感じた。AIを題材にするなど、教員の問題提起の方法が興味深い。

意見 8：岐阜県の職業高校が持つポテンシャルは高い。例えば岐阜工業高校の航空学科では、県の産業政策の一環として知事部局の予算で生徒1人1台に3Dプリンターが貸与されている。本校も同様に、商工業の「商」の部分を担当し、創造的なテーマや論理的思考を活かして製品の付加価値を高めることで、特別な予算を得られる可能性があるのではないかと。

意見 9：商業科、工業科、農業科など複数の学科が協力するプロジェクトを立ち上げると面白い。市内に工業高校が2つあり、農業高校も近いという地理的条件を活かすとよいのではないかと。

⇒岐阜農林高校が製造するアイスクリームに対し、本校の生徒が付加価値を高めるような企画を考えるとといった連携が考えられる。

【定時制】

意見 10：タブレット購入費用など、生徒の学習活動にかかる経費が負担になる。具体的な支援策を模索していく必要がある。

意見 11：高校進学時の入学一時支援金など、義務教育段階で存在するような経済的支援制度が必要である。岐阜市の育英資金は高校生も対象であるが、申請者が少ないという課題がある。制度の情報が十分に伝わっていない可能性が考えられる。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、校長の現状報告、外部評価アンケートの結果、そして来年度から導入されるタブレット端末に関する課題が挙げられた。アンケートからはICT活用や働き方改革の遅れが指摘され、タブレット導入に伴う家庭の経済的負担や、奨学会基金の活用案が議論された。企業、大学、地域、PTAなど様々な分野から多岐にわたるご提言やご助言をいただき、今後の学校教育を運営するにあたり、大変参考となった。今後の学校経営に活かしていきたい。